

慶應義塾大学 文学部

民族学考古学専攻

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

民族学・考古学専攻では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成する。

1. 民族学と考古学の基礎的な考え方を習得するための概論科目（「考古学」・「民族学」）を設置するとともに、研究を展開する上で必要な専門知識の習得を目的に、学生の求めに応じた幅広い時代・地域を対象とした専門性の高い特殊講義科目群（「民族学考古学考特殊」）や語学科目（「原典講読」）を設置する。
2. フィールドでの調査研究能力、一次資料の分析能力、分析結果のプレゼンテーション能力を高めることを目的に、各種実習科目群（「民族学考古学考研究法」・「博物館学実習」）を設置するとともに、教員によって組織される国内外の野外調査等への参加を推奨する。
3. より高いレベルで考古学的・民族学的思考力や論理構成力を養成し、加えて卒業論文の執筆を可能とするために、指定された指導教員が個別指導を行う演習科目群（「民族学考古学研究会」）を設置する。